

区分 データサイエンスを活用した分野

(サブタイトル) 「データサイエンス利活用教育訓練プログラムの開発」

(開発した訓練の特徴等)

訓練の内容: E-Learningを活用した最先端数理・データ高度情報リテラシー獲得教材
・基礎コース:40回(各回1.5時間、計60時間)
・応用コース:40回(各回1.5時間、計60時間)
キャリアアップを目指す社会人のために、データサイエンス分野における技術革新を反映した最新かつ実践的な知識・技術の習得に資する教育訓練プログラム

訓練の対象となる業種・職種等:
データサイエンスを活用する全ての業種・職種

(受講のメリット)

- ・データサイエンスに必要となる数学や数理統計の知識、データ解析のための手法やプログラミングについての基礎的な知識や技術を習得できる。
- ・様々な研究分野や企業でのデータの処理や解析の手法を学習し、データサイエンスの最先端の研究や実用についての知識を習得できる。

(実施した時の環境等)



訓練の内容: 基礎コース、応用コース
募集期間 : (基礎コース)令和元年9月1日～令和元年9月30日
(応用コース)令和2年4月1日～令和2年9月30日
応募人数 : (基礎コース)21人 (応用コース)28人
受講人数 : (基礎コース)21人 (応用コース)17人
受講日時 :
(基礎コース)令和元年10月3日～令和2年3月5日 平日夜間(18:00～21:15)
(応用コース)令和2年10月1日～令和3年3月18日 平日夜間(18:15～21:00)
受講料 : 無料

社会人受講生のための配慮:
講義資料を事前配布。Web授業の録画映像を後日配信。

区分 データサイエンスを活用した分野

(訓練を実施する上で注意する点)

訓練の内容:

- ・基礎コース:各回講義60分+演習30分
- ・応用コース:各回講義(2回分)90分+演習90分
- 演習:5名1グループで討議
- (課題提示5分 自習10分 グループワーク40分 発表20分 解説・講評10分)

訓練時間数: ・基礎コース 60時間
・応用コース 60時間

(訓練を実施する上で推奨される取り組み事例)

基礎コース:スクーリングで対面による資格試験受験指導(ITパスポート資格試験等)を実施する。

応用コース:研究発表会を実施し、発表テーマは受講生が自由に決定する。
特に実際の職務に関する課題について研究発表を行うことで
業務課題を解決するスキルが向上する。



(受講者等からの声)

- ・機械学習に用いる各種パッケージの裏側で起きていることが、イメージできるようになった。
- ・普段業務で最適化計算を行っているが、意味がよく分かっていなかったタームを理解することが出来た。
また、機械学習の基礎ではSVM, NNなどの基礎・考え方を学ぶことができ、抵抗がなくなった。
- ・基礎 の授業全般がAI設計時やエラー発生時のリカバリなどに役立った。
- ・講義で得た知識をどう実世界に適用するか、公式を調べる重要性やデータの収集についてイメージを持つことができた。

(受託事業者) **国立大学法人大阪大学**

(詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP: URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaiatsu/program_development_text.html#ds
厚生労働省人材開発統括官付参事官室(人材開発政策担当)政策企画室事業係 03-5253-1111(内線5648)